資料１

第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況

市の取組み

【令和５年度の取組状況】

目　　次

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（１）地域福祉への関心をを高めます

(1)福祉への理解や福祉教育を促進します

①社会福祉協議会や福祉施設と連携し、あらゆる世代を対象とした福祉教育やボランティア活動など体験学習を推進し、福祉への理解や関心を高めます　1

②人権を尊重する意識を高める取り組みを行います　3

③認知症や障がいに関する知識や理解を深める取り組みを行います　7

（２）地域福祉活動の担い手を育成します

(1)ボランティアや福祉人材の育成を図ります

①ボランティアとしての活動が期待される人材の発掘と経験や知識を地域に活かせるよう支援を行います　9

(2)健康意識の醸成を図ります

①健康づくりや介護予防に取り組みます　10

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

(1)住民主体の活動を支援します

①各種団体の活動に対する支援や活動内容の周知を図ります　14

(2)高齢者や障がい者・児、子育て世帯の地域生活を支援します

①地域包括ケアシステムの拡充を図ります　16

②障がい者・児を地域全体で支える体制づくりを進めます　17

③地域全体で子育てを支援する環境を整えます　18

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

(1)居場所づくりを支援します

①地域住民の交流の場となる活動拠点として公共施設や民間施設を活用した交流の場づくりを支援します。　21

(2)地域のコミュニティー活動を支援します

①地域活動を担う団体に対する支援や地域固有の活動に対する支援を行います　25

(3)市民団体、ボランティア等を支援します

①補助金を交付するなど市民団体やボランティア等の活動を支援します　26

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり
（１）複雑化・複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します。
(1)複雑化・複合化した生活課題に対応します
①包括的な相談支援体制を構築します　30
②虐待防止に向けた体制の充実を図ります　31
③生活困窮者の自立を支援します　35
④ケアラーへの支援を行います　36
（２）支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います
(1)広報紙をはじめ様々な媒体を使い、わかりやすい情報提供を行います
①広報くきをはじめとする市の刊行物や市ホームページ、動画チャンネル等のSNSを活用しながら、福祉に関する情報をわかりやすく発信していきます　40
（３）個々の活動をつなぐ仕組みをつくります
(1)福祉に関わる関係機関等との連携強化を図ります
①民生委員・児童委員等の地域福祉の担い手や福祉の専門機関との連携を図ります　41
②各支援機関が円滑な連携のもとで支援ができるように取り組みます　42
③地域生活課題の解決に向け高等教育機関や民間事業者等と連携を図ります　－

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり
（１）災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います
(1)住民主体の見守り活動を推進します
①要援護者の見守りや登下校時の見守り活動の支援を行います　43
(2)住民主体の防犯、防災活動を推進します
①防犯パトロール、防災訓練、自主防災組織の支援を行います　45
（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります。
(1)各福祉計画で策定した事業を円滑に実施します
①高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画、障がい者福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画で策定した事業を円滑に実施します　46
(2)市民の移動手段の確保に努めます
①民間公共交通と公共交通との連携を図り、市民の移動手段の確保に努めます　51
(3)バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境を整備します
①公共施設等におけるバリアフリー化等の施設整備を進めるとともにユニバーサルデザインについての理解を深め、普及・活用を図ります　52

進捗状況を把握するための計画指標(別表)　55

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（１）地域福祉への関心を高めます

様式１

主な取り組み	（1）福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	①社会福祉協議会や福祉施設と連携し、あらゆる世代を対象とした福祉教育やボランティア活動など体験学習を推進し、福祉への理解や関心を高める
主な担当課	指導課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 中学生社会体験チャレンジ事業として、職場体験学習を実施します。働く人々とのふれあいを通して、勤労の尊さを重んじ、生きがいのある人生を実現しようとする力を育みます。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら、職場体験活動を実施しました。９校が３日間、１校が２日間の体験活動を実施しました。
	【成果】 ・普段体験できないことを体験したり、事業所の方からの話を聞いたりして、自分の生き方や福祉の視点での必要性、重要性を実感することにつながりました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・引き続き、事業所の理解・協力をいただき、体験場所の確保に努める必要があります。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

様式１

（１）地域福祉への関心を高めます

主な取り組み	(1) 福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	①社会福祉協議会や福祉施設と連携し、あらゆる世代を対象とした福祉教育やボランティア活動など体験学習を推進し、福祉への理解や関心を高める
主な担当課	生涯学習課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 市民大学では、学習プログラムにおいて、介護など高齢者福祉、地域福祉についての講座を実施したほか、歳末助け合い募金活動を実施しました。 高齢者大学では、障がいのある人の人権や介護についての講座を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 【市民大学】 11月25日 在宅介護の現状について　10名 ※講師：久喜市福祉協議会　職員 12月 9日 歳末助け合い募金　20名 ※久喜市社会福祉協議会から募金箱を借用して実施 1月12日 みんなでつくろう福祉のまち　10名 ※講師：久喜市福祉協議会　職員 【高齢者大学】 5月26日 障がいのある人の人権　39名 ※講師：障害支援センターきらら　職員 10月 6日 家族と介護　21名 ※講師：鶴寿の里 ナーシングホーム　職員
	【成果】 市民大学では、介護や地域福祉をテーマにした講義を実施し、福祉に対する理解を深めることができました。また、歳末助け合い募金活動を実施し、社会貢献やボランティア活動への関心を高めることができました。 高齢者大学では、障がいのある人の人権や介護についての講座を実施し、障がいと介護についての理解を深めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 両大学ともに、年々入学者が減少傾向にあります。今後は、魅力ある講座や活動を検討するほか、積極的な情報発信を行い学生数の確保を目指します。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 両大学ともに、年間学習計画に基づいた学習活動等を推進し、地域福祉の意義について理解を深めることに寄与していると考えていますが、学生数確保のための見直しを進めていきます。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（１）地域福祉への関心を高めます

様式１

主な取り組み	(1) 福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	②人権を尊重する意識を高める取り組み
主な担当課	指導課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・人権文集「えがお」を作成し、道徳や学級活動等で活用しました。 ・人権啓発資料、人権教育実践事例集を共有し、活用を図りました。 ・研修関係では、教職員人権教育研修、学校同和教育現地研修、校長同和教育研修を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・人権文集「えがお」の作成には、各学校の人権担当者31名が集まり、編集会議を3回実施しました。 ・各学校の作文や標語を持ち寄り、各学年８点の代表作品を選出しました。 ・教職員人権教育研修については、各４地区でオンラインも含めて実施しました。参加人数は、久喜地区が277名、蕨蒲地区が118名、栗橋地区が141名、鷲宮地区が210名の教職員が参加しました。 ・学校同和教育現地研修については79名、校長同和教育研修については37名が参加しました。
	【成果】 ・人権文集「えがお」を市内全児童生徒に配布し活用することで、児童生徒の人権感覚を着実に育成することができました。 ・啓発資料等の活用や人権担当を中心とした研修会をとおして、教職員一人ひとりが人権尊重に対する意識が高まり、学校生活の中で児童生徒の指導に活かすことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・各学校で年度末にまとめている人権教育実践事例から、各学校で人権感覚育成プログラム等を活用した研修会が実施されている様子がうかがえるとともに、人権啓発に向けて掲示物等学校独自で工夫している様子がわかります。 ・人権文集「えがお」の作品募集の取り組みを通して、人権について考える機会となり、掲載される作品からも、意識の高揚がうかがえる内容が多くなっています。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

様式１

（１）地域福祉への関心を高めます

主な取り組み	(1) 福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	②人権を尊重する意識を高める取り組み
主な担当課	生涯学習課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ＰＴＡ人権教育研修会（年４回開催）、社会人権教育指導者養成講座（年１会開催）を開催しました。 市民大学及び高齢者大学の学習プログラムにおいて、様々な人権についての講座を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ＰＴＡ人権教育研修会 第1回　日時：令和5年6月27日（火） 会場：菖蒲文化会館 講師：宮崎　成悟 テーマ：ヤングケアラー当事者の人生から考える支援の方法 参加者数：86人 第2回　日時：令和5年8月17日（木） 会場：久喜総合文化会館 講師：大賀　一樹 テーマ：いろんな性といろんなあり方　「自分らしく」って一体なんだ？ 参加者数：103人 第3回　日時：令和5年11月13日（月） 会場：栗橋文化会館 講師：大胡田　誠 テーマ：全盲の僕が弁護士になった理由　あきらめない心の鍛え方 参加者数：86人 第4回　日時：令和6年1月16日（火） 会場：鷲宮総合支所会議室 講師：阿部　真紀 テーマ：親と子のヘルシーな関係を考える　～ちょうどいい距離感とは～ 参加者数：47人 社会人権教育指導者養成講座 日時：令和6年2月16日（金） 会場：久喜総合文化会館 講師：持田　倫武 テーマ：暮らしの中の人権 参加者数：138人 【市民大学】 令和5年7月14日（金）　男女共同参画による社会づくり　11人 令和5年12月6日（水）　人権意識の高揚する社会づくり　11人 【高齢者大学】 令和5年5月26日（金）　障がいのある人の人権　39人 令和6年1月10日（水）　様々な人権について考えよう　36人 令和6年1月12日（金）　女性の人権　22人 令和6年1月15日（月）　同和教育　28人
	【成果】 ＰＴＡ人権教育研修会、社会人権教育指導者養成講座の実施により、人権問題に対する正しい理解と認識が深まり、差別意識の解消を図るとともに、人権意識の高揚を図ることができました。 市民大学では、「男女共同参画による社会づくり」「人権意識の高揚する社会づくり」の講座を実施し、男女共同参画や人権についての理解を深め、人権意識の高揚を図ることができました。 高齢者大学では、「障がいのある人の人権」「女性の人権」「様々な人権について考えよう」などの講座を実施し、各種人権問題についての学習を通して、人権に対する理解を深め、人権意識の高揚を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ＰＴＡ人権教育研修会、社会人権教育指導者養成講座については、より多くの方に参加をしていただくために広く市民に向けて、広報くきやホームページ、ＳＮＳなどを用いて開催の周知を図ってまいります。 市民大学・高齢者大学ともに、年々入学者が減少傾向にあります。今後は、魅力ある講座や活動を検討するほか、積極的な情報発信を行い学生数の確保を目指します。
	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施

進捗状況	【上記項目の評価理由】 　ＰＴＡ人権教育研修会、社会人権教育指導者養成講座については、予定していた研修会、講座をすべて実施できました。人権意識の向上や人権問題に対する正しい理解と認識を深められるよう継続して実施していきます。 　市民大学・高齢者大学ともに、年間学習計画に基づき、人権に係る学習活動を推進し、差別のない、お互いに尊重し合うことができる人間関係を築くための理解を深めることに寄与していると考えています。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（１）地域福祉への関心を高めます

様式1

主な取り組み	(1) 福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	②人権を尊重する意識を高める取り組み
主な担当課	人権推進課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ①各地区人権を考えるつどい事業 ②埼葛人権を考えるつどい事業 ③菖蒲地区人権映画会 ④企業訪問事業 ⑤拉致被害者写真展 ⑥平和の絵画展 ⑦人権相談・女性相談事業
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①各地区人権を考えるつどい事業 ○久喜地区「平和と人権のつどい」 R5.9.9（土）実施　久喜総合文化会館　参加者850人 ○栗橋地区「人権フェスタINくりはし」 R5.10.28（土）実施　栗橋文化会館（イリス）　参加者584人 ○菖蒲地区「人権のつどい・少年の主張大会」 R5.11.18（土）実施　菖蒲文化会館（アミーゴ）　参加者905人 ○鷲宮地区「人権のつどい」 R5.12.9（土）実施　鷲宮西コミュニティセンター（おおとり）　参加者614人 ②埼葛人権を考えるつどい事業 埼葛人権を考えるつどい R5.10.5（木）実施　会場地：越谷市（越谷コミュニティセンター）　参加者5,000人 ③菖蒲地区人権映画会 R5.8.5（土）実施　菖蒲文化会館（アミーゴ）　参加者245人 ④企業訪問事業 人権啓発及び公正採用のための企業訪問 R5.8.16（水）～9.8（金）の期間に訪問　訪問企業数226社 ⑤拉致被害者写真展 R5.12.10（日）～12.17（日）の期間に、久喜中央コミュニティセンターに展示 ⑥平和の絵画展 R5.10.2（月）～10.12（木）の期間に、鷲宮中央コミュニティセンターに展示 R5.11.30（木）～12.14（木）の期間に、菖蒲文化会館（アミーゴ）に展示 R5.12.12（火）～12.25（月）の期間に、栗橋総合支所に展示 R6.1.20（土）～2.1（木）の期間に、久喜中央コミュニティセンターに展示 ⑦人権相談・女性相談事業 久喜地区原則毎月10日に実施　相談件数26件、菖蒲地区原則毎月第3水曜日実施　相談件数2件 栗橋地区原則毎月第3木曜日実施　相談件数3件、鷲宮地区原則毎月第4月曜日実施　相談件数10件
	【成果】 市民の人権意識の高揚を図るとともに、人権問題に対する正しい理解と関心を深めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 計画通りに事業を実施することができ、市民の人権意識の高揚を図るとともに、人権問題に対する正しい理解と関心を深めることができたため。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（１）地域福祉への関心を高めます

様式１

主な取り組み	(1) 福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	③認知症や障がいに関する知識や理解を深める取り組み
主な担当課	障がい者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・障がい者差別解消法に関する出前講座を実施しました。 ・手話映画「咲む」映画上映会を開催しました。 ・発達障がいを考える講演会を開催しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・きこえない人とそれを取り巻く社会の状況を多くの方々に知ってもらうため、全日本ろうあ連盟が作成した映画「咲む」上映しました。 開催日　　令和５年９月３０日（土） 場所　　蒲蒲文化会館　文化ホール 来場者数　　１０３人 ・発達障がいを考える講演会を実施 開催日　　令和５年５月２０日（土） 場所　　ふれあいセンター久喜　会議室 参加者　　４２名
	【成果】 障がいに関する知識や理解を深めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 障がいに関する知識や理解を深める事業を実施することができました。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（１）地域福祉への関心を高めます

様式1

主な取り組み	(1) 福祉への理解や福祉教育を促進
内　　容	③認知症や障がいに関する知識や理解を深める取り組み
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・認知症の方を地域で見守る認知症サポーターを養成しました。 ・地域住民で認知症のある方やその家族を支えられるように、また、認知症に対する理解を深めていただくために、認知症高齢者声かけ模擬訓練を行いました。 ・認知症の方やその家族の不安の軽減を図るため、オレンジカフェを開催しました。 ・認知症の方やそのご家族の支援を目的とした市の事業等を、広報やホームページに掲載し周知に努めました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・認知症サポーター養成講座（8回、127人） ・認知症高齢者声かけ模擬訓練（1回、23人） ・オレンジカフェの開催（24回、130人） ・広報くきやホームページに認知症関連の情報や事業の情報の掲載。
	【成果】 ・5ヵ所の地域包括支援センターと連携して事業を展開し、多くの市民に対して認知症に関する正しい知識の普及と啓発を推進することができました。また、必要に応じて関係機関と連携し適切な支援を行うことができました。 ・広報くきへの掲載及び講座等の実施により、認知症に関する普及啓発を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・事業の参加者数が少ないため、参加者の募集方法を工夫する。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 多くの事業が実施でき、認知症に関する普及啓発を図ることができている一方で、より多くの方に事業に参加していただくための工夫も必要であるため。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（２）地域福祉活動の担い手を育成します

様式１

主な取り組み	（1）ボランティアや福祉人材の育成
内　　容	①ボランティアとしての活動が期待される人材の発掘と経験や知識を地域に行かせるよう支援
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 介護予防事業の普及を図るため、介護予防ボランティア（はつらつリーダー）養成講座を開催しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・介護予防ボランティア（はつらつリーダー）養成講座　開催回数：11回　参加者延人数：23人 養成人数：1人
	【成果】 ・令和5年度はつらつ運動教室のリーダーとして活動を開始する準備として介護予防ボランティア（はつらつリーダー）を１名養成することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・介護予防ボランティア（はつらつリーダー）の高齢化による人材不足が課題となっているため、より多くの方に参加してもらえるように、受講時間を短縮するなど、実施方法や募集方法を工夫する。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 養成講座に参加する方はいるものの、養成できる人数が少なく、介護予防事業を継続して実施していくためには、養成者数を増やしていく必要があるため。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（２）地域福祉活動の担い手を育成します

様式1

主な取り組み	(2) 健康意識の醸成を図る
内　　容	①健康づくりや介護予防に取り組む
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・市内１９カ所において、高齢者に対する健康相談を実施しました。 「はつらつ運動教室」を市内３７会場で開催し、高齢者の健康づくり、介護予防、市民の交流を支援します。 ・「ご近所型介護予防体操支援事業」を実施し、誰でも参加することができる住民主体の通いの場を増やし、市民の介護予防を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・高齢者に対する健康相談　実施回数：６３回、参加延べ人数：６９０人 ・「はつらつ運動教室」は市内３７会場で事業を実施しました。 ・ご近所型介護予防体操支援事業　申請団体数：3団体
	【成果】 ・高齢者に対して血圧測定や相談を実施し、高齢者自身の介護予防に資することができました。 ・「はつらつ運動教室」、「ご近所型介護予防体操支援事業」の実施により、高齢者の健康づくりと介護予防を支援し、高齢者の生活維持、向上に寄与しました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・はつらつ運動教室の指導者の確保やご近所型介護予防体操の実施団体の増加を図る必要があるため、事業の趣旨の普及・啓発に努める。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 高齢者の身近な場所で健康相談を実施し、介護予防に関する知識、啓発ができました。一方で、「はつらつ運動教室」、「ご近所型介護予防体操」が安定して継続できるよう支援し、高齢者の健康づくりと介護予防が促進されているものの、更なる事業へ拡大を図る必要があるため。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（２）地域福祉活動の担い手を育成します

様式１

主な取り組み	（2）健康意識の醸成を図る
内　　容	①健康づくりや介護予防に取り組む
主な担当課	健康医療課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ●健康増進・食育推進会議及び関連する作業部会、庁内連絡会議を開催し、第2次久喜市健康増進・食育推進計画及び自殺対策計画における取組みの進捗管理を行いました。また、次期計画の策定に向けて審議を行いました。 ●食育推進の一環として、朝食摂取の重要性を市民に周知する動画を作成し、市ホームページや久喜市公式動画チャンネルで公開しました。 ●健康づくり・食育推進大会では、健康づくり・食育推進ポスターの授賞式の他、講演や学校、市民団体の発表、関係機関による各種測定、国民健康保険課による健康相談を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ●健康増進・食育推進会議については、令和5年6月5日（月）、8月29日（火）、12月20日（水）、令和6年3月18日（月）の年4回開催しました。 ●食育の推進、啓発のため、簡単朝食レシピの食育動画を3本作成して、市ホームページや久喜市公式動画チャンネルに公開しました。 ●健康づくり・食育推進大会では、495名が来場しました。また、健康づくり・食育推進ポスターは、市内の幼稚園、保育施設、小・中学校から1,171点の応募がありました。
	【成果】 ●健康増進・食育推進会議において、第2次久喜市健康増進・食育推進計画及び自殺対策計画の各事業の進捗管理を行うとともに、次期計画について審議を行い、策定しました。 ●食育動画を通じて、朝食摂取の重要性について普及・啓発を図ることができました。 ●健康づくりや食育推進ポスターの募集を通じて、健康づくりや食育への興味関心を深めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 短日開催のイベントに替えて、参加者にとって持続性のある事業の実施。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 健康増進・食育推進会議では、毎年度達成度の検証が可能な計画を策定でき、食育動画を久喜市公式動画チャンネル等で公開したことにより、継続的に視聴化可能な周知啓発を行うことができたため。 また、健康づくり・食育推進大会では、未就学児から高齢者まで幅広い年齢層が来場し、健康づくりと食育の動機づけができたと考えられるため。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（２）地域福祉活動の担い手を育成します

様式1

主な取り組み	(2) 健康意識の醸成を図る
内　　容	①健康づくりや介護予防に取り組む
主な担当課	地域保健課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・がん検診等の実施、運動や栄養に関する教室の開催、保健師や栄養士等による健康相談、食生活相談を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・がん検診受診者数（胃がん：4,982人、肺がん：6,935人、子宮頸がん：3,187人、乳がん：3,350人、大腸がん：15,105人、前立腺がん：7,517人、肝炎ウイルス検診：1,046人、健康診査：104人） ・健康教育：今日から始めるウォーキング教室（中央・菖蒲）1回14人、今日から始めるウォーキング教室（栗橋・鷲宮）1回20人、生活習慣病予防講座（血管が老化する原因と対処法）1回28人、栄養講座、食生活講座等21回778人、出前講座6回131人、埼玉県コバトン健康マイレージ事業参加者数3,191人 ・健康相談・食生活相談：205回　延べ人数669人
	【成果】 様々な事業の実施により、参加された方の健康づくりの意識の高揚を図るとともに、生活習慣の改善を促すことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	健康づくり事業の参加者が同じメンバーとなる傾向があり、より多くの方に参加していただくため、実施内容の見直しや、企業との連携などにより新たな取り組みを検討していく必要がある。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・食生活や運動習慣などの生活習慣を起因とする生活習慣病にかかる人が多く、生活習慣病予防や健康増進のための健康づくりの取組みは重要であるが、事業数、参加者数が年々減少しているため。

基本目標１　誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり

（２）地域福祉活動の担い手を育成します

様式1

主な取り組み	(2) 健康意識の醸成を図る
内　　容	①健康づくりや介護予防に取り組む
主な担当課	スポーツ振興課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 市民が、スポーツ・レクリエーション活動に自主的かつ積極的に参加できる場の提供と、各大会の振興を図ります。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 くき健康ウォーク 開催日：令和5年10月15日　参加者：雨天のため中止 綱引大会 開催日：令和5年12月3日　参加者：586人 スポーツ体験会 開催日：令和6年1月28日　参加者：224人 第9回よろこびのまち久喜マラソン大会 開催日：令和6年3月24日　参加者：2,904人
	【成果】 スポーツ・レクリエーション大会等の実施により、市民の健康増進や交流促進を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 より多くの方が参加できるよう、周知を図っていく必要があります。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式1

主な取り組み	(1) 住民主体の活動を支援
内　　容	①各種団体の活動に対する支援や活動内容の周知を図る
主な担当課	地域保健課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・食生活の改善に対する情報を提供し、知識を普及させ、市民自らが食生活の見直し、改善を行い、健康の保持増進を図りました。令和5年度は、13回事業を食生活改善推進員協議会に委託し、実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・骨の健康チェック：5回　延べ人数469人、骨粗しょう症予防講座：2回　延べ人数33人、栄養バランス食講座：2回　延べ人数25人、生活習慣病予防講座：2回　26人、育児中ママのクッキング：1回　24人、親子料理教室：1回　26人
	【成果】 ・食生活の改善に対する情報を提供し、知識の普及により市民の改善意識の高揚を図ることが出来ました。また、食生活改善推進員に研修等を行うことで知識の向上を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	より多くの市民に食生活改善のための情報を啓発していくために、食生活の食生活改善推進員の会員数を増やしていく必要がある。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・食生活の改善に対する情報を提供し、知識の普及により市民の改善意識の高揚を図ることが出来ました。また、食生活改善推進員に研修等を行うことで知識の向上を図ることができました。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式１

主な取り組み	(1) 住民主体の活動を支援
内　　容	①各種団体の活動に対する支援や活動内容の周知を図る
主な担当課	市民生活課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・市民活動に関する情報について、主要な公共施設に設置した市民活動情報コーナー及び市のホームページ（市民活動のページ）において、市民活動に取組む団体に関する情報を提供しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・市民活動情報コーナー設置数（17箇所） ・市ホームページに掲載している市民活動団体数（239団体）
	【成果】 ・市民活動に関する情報を提供することにより、多くの市民が市民活動に関わる情報を得るとともに、団体相互の情報交流を図ることが出来ました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・市民活動情報コーナー及び市のホームページ（市民活動のページ）を通じて、積極的な情報提供が図られていると考えられます。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式1

主な取り組み	(2) 高齢者や障がい者・児、子育て世帯の地域生活を支援
内　　容	①地域包括ケアシステムの拡充を図る
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業が開始されたことから、事業に協力いただけるサロン等団体の調査を実施しました。 ・けあプロnaviの地域資源データを更新しました。 ・楽かつガイド掲載団体分布図を作成しました。 ・専門職の助言を得ながら、自立支援に向けた取組について検討する地域ケア会議と、地域ケア会議で抽出された地域課題について検討する地域ケア推進会議を開催しました。 ・「在宅医療サポートセンター」（南埼玉郡市医師会に業務委託）において、在宅医療・介護の関係者や家族等からの相談支援を行いました。 ・在宅医療・介護連携推進会議2回と多職種研修会を開催しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 地域ケア会議５回 地域ケア推進会議１回 生活支援コーディネイター打合せ会１２回 在宅医療・介護連携推進会議　３回開催 在宅医療・介護関係者研修会　２回開催
	【成果】 ・令和６年度に一体化事業に協力いただける団体を確認できました。 ・けあプロnaviの一斉更新を完了しました。 ・楽かつガイド掲載団体分布図については、地図の著作権の問題から市民に配布できないので、生活支援コーディネイターの手持ち資料としました。 ・関係者間で課題を共有するとともに、多職種間の顔の見える関係づくりに努めました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・著作権の問題から作成した分布図を広く市民に配布できなかったので、自由に使える地図があると助かります。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 作成した分布図の活用方法が当初想定したものと異なってしまったから。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式1

主な取り組み	(2) 高齢者や障がい者・児、子育て世帯の地域生活を支援
内　　容	②障がい者・児を地域で支える体制づくり
主な担当課	障がい者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・地域づくり部会において障がいのある方に対応した包括ケアシステムの構築及び地域生活支援拠点の整備を行う。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・障がいのある方に対応した包括ケアシステムの構築 実施回数：年４会 ・地域生活支援拠点の整備 実施回数：事務局会を毎月開催 ７月に事業所向け説明会を実施 ２月登録事業所連絡会を実施
	【成果】 障がいのある方に対応した包括ケアシステムの構築を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 障がいのある方に対応した包括ケアシステムの構築を図ることができました。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式1

主な取り組み	（2）高齢者や障がい者・児、子育て世帯の地域生活を支援
内　　容	③地域全体で子育てを支援する環境
主な担当課	子育て支援課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・久喜市児童福祉審議会において、久喜市子ども・子育て支援事業計画の推進状況及び久喜市こども計画の策定等について審議を行いました。 ・ファミリー・サポート・センターにおいて、有償ボランティアによる子育て支援として、概ね生後６か月から小学校６年生以下の児童の保護者を援助活動の対象者とし、育児の援助を受けたい人及び育児の援助を行いたい人がそれぞれ会員となって援助活動を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・久喜市児童福祉審議会（令和５年７月13日、令和６年１月10日、３月26日）　合計３回開催 ・ファミリー・サポート・センター（依頼会員数643人、協力会員数206人、両方会員数90人、会員数合計939人）（相互援助活動件数2,786件）
	【成果】 ・久喜市児童福祉審議会を３回開催し、①久喜市子ども・子育て支援事業計画の推進状況について、②久喜市こども計画の策定について、③久喜市保育所等入所選考基準の見直しについて、④子育てガイドブックについて、主に４議題について審議を行いました。 ・ファミリー・サポート・センターでは、育児をしながら働き続ける環境を整備することで、子育て世帯の仕事と育児の両立の支援を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・久喜市児童福祉審議会について、適切な時期に適切な回数の審議会を開催し、久喜市子ども・子育て支援事業計画の推進及び久喜市こども計画の策定等について審議することができました。 ・ファミリー・サポート・センターについて、PR活動や各種講習会により会員数が順調に増えており、多種多様な依頼に対して柔軟に対応して援助することができました。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式1

主な取り組み	(2) 高齢者や障がい者・児、子育て世帯の地域生活を支援
内　　容	③地域全体で子育てを支援する環境
主な担当課	保育幼稚園課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・公立保育園で相談事業を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・公立保育園育児相談　6件
	【成果】 ・公立保育園での育児相談により、こどもが健やかに成長できるまちづくりに寄与しました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・妊産婦や乳幼児の保護者に対し、適切な助言や指導を行うことができました。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（１）地域にあった支え合いの構築を図ります

様式１

主な取り組み	（2）高齢者や障がい者・児、子育て世帯の地域生活を支援
内　　容	③地域全体で子育てを支援する環境
主な担当課	こども家庭保健課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・乳幼児の保護者を対象に、保健師・助産師・栄養士が健康相談を実施しました。 ・子育て家庭や妊産婦が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、利用者支援事業を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・乳幼児健康相談　48回　延べ925人 ・利用者支援事業利用者延べ人数　2,013人 ・相談件数　104件
	【成果】
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・乳幼児の保護者に対し、適切な助言や指導を行うことができました。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	(1) 居場所づくりを支援（交流拠点の整備・交流機会の充実）
内　　容	①地域住民の交流の場となる活動拠点として、公共施設や民間施設を活用した交流の場づくりを支援
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・「はつらつ運動教室」を市内３７会場で開催し、高齢者の健康づくり、介護予防、市民の交流を支援しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・「はつらつ運動教室」を市内３７会場で実施。
	【成果】 ・公共施設や集会所などで「はつらつ運動教室」を開催し、高齢者の健康づくりと介護予防を行いながら、集いの場としても住民同士の交流を促すことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・高齢者の集いの場としても「はつらつ運動教室」が安定して継続できるよう支援できているため。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	（1）居場所づくりを支援（交流拠点の整備・交流機会の充実）
内　　容	①地域住民の交流の場となる活動拠点として、公共施設や民間施設を活用した交流の場づくりを支援
主な担当課	子育て支援課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・地域子育て支援センターにおける地域子育て応援事業として、経験や知識を持った地域の方が、子育ての担い手として活躍することができるように、子育てに関する講演会や多世代ふれあい交流事業を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・講演会、交流事業の実施回数　久喜：50回、栗橋：40回、鷲宮：30回 ・延べ参加人数　久喜：965人、栗橋：877人、鷲宮：1,073人
	【成果】 地域の方などを講師に迎えて、子育て世帯の親子が楽しめるヨガやコンサート等を開催することができました。講演会や交流事業に参加することで、子育て中の親同士がコミュニケーションを図ることができました。また、子育て中の親子が地域子育て支援センターに気軽に立ち寄り、こどもたちが安全に楽しく遊ぶことができる場を提供することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 感染症予防対策を行いながら、地域子育て支援センターの開所及び講演会や交流事業が予定通り開催できました。各種講演会や交流事業を実施することで、親同士の交流の場を提供し子育て家庭の育児支援が図れました。

基本目標２．誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式1

主な取り組み	（1）居場所づくりを支援（交流拠点の整備・交流機会の充実）
内　　容	①地域住民の交流の場となる活動拠点として、公共施設や民間施設を活用した交流の場づくりを支援
主な担当課	市民生活課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・自治会等が管理する集会施設や備品の整備に対して各種財政支援を実施することにより、地域住民の交流拠点の整備を促進しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・コミュニティ助成事業補助金交付団体　　1団体　計2,500,000円 ・地域活動の拠点整備事業補助金交付団体数　14団体　計9,096,000円
	【成果】 ・コミュニティ助成事業補助金及び地域活動の拠点整備事業補助金の活用により、地域住民の交流の場となる活動拠点の整備に寄与することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 補助金の交付により、地域コミュニティ活動の促進が図られました。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	（1）居場所づくりを支援（交流拠点の整備・交流機会の充実）
内　　容	①地域住民の交流の場となる活動拠点として、公共施設や民間施設を活用した交流の場づくりを支援
主な担当課	こども育成課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 こども食堂・フードパントリー等活動団体に対し、フードポスト及びフードドライブを通じて寄付された食材等の提供を実施しました。また、国や県等からの情報の共有や、活動に必要な公共施設の予約に係る支援等を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 活動団体数：9団体 延べ活動回数：こども食堂144回、フードパントリー221回
	【成果】 各団体の活動の側面的支援を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 各団体において、地域の住民の活動及び交流の場として、自立した活動を継続的に実施することができています。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	（2）地域のコミュニティ活動を支援
内　　容	①地域活動を担う団体に対する支援や地域固有の活動に対する支援
主な担当課	市民生活課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・地域のコミュニティ活動及びコミュニティづくりを推進するため、コミュニティ協議会及びコミュニティ祭りなどに対して財政的支援等を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・コミュニティ協議会補助金交付団体数（久喜地区）　7団体　1,450,000円 ・コミュニティ協議会補助金交付団体数（菖蒲地区）　1団体　250,000円 ・コミュニティ協議会補助金交付団体数（栗橋地区）　5団体　1,023,911円 ・コミュニティ協議会補助金交付団体数（鷲宮地区）　6団体　1,126,493円 ・コミュニティ祭り事業 赤花そば栗橋やさしさときめき祭り 開催日：令和５年１１月１９日（日）　参加者：約 6,000人　補助金：1,900,000円 鷲宮地区コミュニティ祭り 開催日：令和５年　５月１４日（日）　参加者：約16,000人　補助金：　800,000円
	【成果】 ・市民との協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりを通じて、コミュニティづくりの推進を図ることができました。 ・地域での祭りを通じて各団体間や参加市民の相互交流を高めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・コミュニテイ祭り事業 参加団体の解散や高齢化により、将来的な規模の縮小傾向が見られるため、祭り実行委員会も含めた若返りを検討します。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・補助金の交付により、地域コミュニティ活動の促進が図られました。 ・コミュニティ祭り事業では、参加団体の解散や高齢化により、将来的な規模の縮小傾向が見られます。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	（3）市民団体、ボランティア等を支援
内　　容	①補助金を交付するなど、市民団体やボランティア等の活動を支援
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・久喜市高齢者ふれあい元気サロン事業を通じて、集いの場をを提供して活動を実施する団体に対し補助金を交付しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・久喜市高齢者ふれあい元気サロン事業補助金交付団体　2団体　計100,650円
	【成果】 ・久喜市高齢者ふれあい元気サロン補助金の活用により、地域コミュニティ活動及びコミュニティづくりの推進に寄与することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・活動団体が担い手不足などで減少しているため、団体の活動継続に関する支援も検討する必要がある。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 活動中の団体に対しては、補助金の交付により、地域コミュニティ活動の支援ができているが、活動団体の減少もあるため。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	(3) 市民団体、ボランティア等を支援
内　　容	①補助金を交付するなど、市民団体やボランティア等の活動を支援
主な担当課	市民生活課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・市民活動推進基金及び福祉基金を活用した市民活動推進補助事業を公募し、審査を経て、補助対象事業となった団体に対し、補助金を交付しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・補助金交付団体数　6団体　計540,000円 市民活動推進基金　100,000円（初期的補助 0団体、発展的補助 1団体） 福祉基金　440,000円（初期的補助 1団体、発展的補助 4団体）
	【成果】 ・市民活動推進補助事業により、市民活動団体の特性を活かした事業を実施するとともに、団体の育成が図られました。また、補助金を交付することで、市民活動団体に対する財政支援を行いました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・補助金の交付により、市民活動団体の自主財源だけでは困難な事業の実施が可能となり、市民活動の活性化に寄与していると考えています。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	(3) 市民団体、ボランティア等を支援
内　　容	①補助金を交付するなど、市民団体やボランティア等の活動を支援
主な担当課	社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・市民活動推進基金及び福祉基金を活用した市民活動推進補助事業を公募し、審査を経て、補助対象事業となった団体に対し、補助金を交付しました。 ・地域における健康福祉活動を図るために積み立てている福祉基金からは、市民活動推進事業の推進のため、市民生活課に対し、福祉基金の充当を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ●補助金交付団体数　６団体　計440,000円 ●福祉基金当初充当額…1,000,000円（初期的補助 5万円/1団体、発展的補助 10万円/1団体） ●福祉基金確定充当額…440,000円（初期的補助 1団体、発展的補助 5団体）
	【成果】 市民活動推進補助事業により、市民活動団体の特性を活かした事業を実施するとともに、団体の育成が図られました。また、補助金を交付することで、市民活動団体に対する財政支援を行いました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 補助金の交付により、市民活動団体の自主財源だけでは困難な事業を実施することができており、市民活動団体の活動の活性化に寄与していると考えています。

基本目標２　誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

（２）世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります

様式１

主な取り組み	(3) 市民団体、ボランティア等を支援
内　　容	①補助金を交付するなど、市民団体やボランティア等の活動を支援
主な担当課	こども育成課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 青少年の健全育成の推進を図るため、各青少年健全育成活動団体に補助金を交付しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 青少年団体連絡協議会　45,000円 青少年のつどい実行委員会　108,000円 青少年育成久喜市民会議　455,609円 菖蒲地区青少年育成市民会議　307,397円 栢間地区青少年を守る会　48,000円 小林地区青少年を守る会　48,000円 青少年育成市民会議栗橋　35,000円 鷲宮地区青少年育成推進員協議会　144,000円
	【成果】 ・青少年を取り巻く環境の共通理解を深めることができました。 ・各青少年健全育成活動団体が主催する事業を通じて、青少年健全育成の推進を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・多くの団体で構成員の高齢化が進み、後継者が不足しており、事業の実施が難しくなってきています。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・一部の団体において、当初の事業計画に沿った事業の実施が困難になり、事業の中止・縮小等がありました。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式1

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	①包括的な相談支援体制を構築
主な担当課	社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・令和５年４月１日に「ふくし総合相談窓口」を設置し、複雑化、複合化した課題（いくつかの課にまたがる課題）の相談やどこに相談したらよいのかわからない相談者の相談を受け付ける。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・相談件数　　４２件（内訳　電話１２件　来所　３０件） ・主な相談内容 子どもの就労について 家族（妻、義母、両親、父、兄弟姉妹、子）について 子どものひきこもりについて 住宅の確保について 購入品の解約について　　など
	【成果】 生活に不安を抱えている相談者の相談に向き合い、必要に応じて、担当課と調整をして支援を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 相談を受ける職員研修などに参加をし、知識や経過を習得し、更なる相談支援体制の充実を目指すため。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式1

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	②虐待防止に向けた体制の充実
主な担当課	障がい者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・虐待防止用携帯電話を整備し、24時間通報が可能となる体制を整えています。 ・緊急時施設入所等扶助費を予算化し、緊急の施設入所受入れに備えました。 ・権利擁護部会において、研修・アンケート・意見交換会を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・地域の事業所に対する虐待意識向上に関する取り組みとして虐待各法人事業所の虐待防止に関する意見交換会を実施。 実施日：令和５年７月１９日　　３６名参加 ・地域事業所に対する虐待防止の意識向上に関する取り組みとして事業所向けに研修を実施。 実施日：令和５年１２月１８日　４６名参加
	【成果】 意見交換会や研修を実施し、虐待防止に向けた体制の充実を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 意見交換会や研修を実施し、虐待防止に向けた体制の充実を図ることができました。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式１

主な取り組み	（1）複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	②虐待防止に向けた体制の充実
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・警察や居宅介護支援事業所のケアマネジャーなどから通報を受けた虐待事案に対し、関係機関と連携を図り、迅速に対応しました。 ・高齢者の権利擁護と虐待防止について、広報くきに啓発記事を掲載しました。 ・地域包括支援センター職員、および弁護士や社会福祉士の専門職等による、高齢者虐待防止のためのケース検討会を開催し、支援に生かしました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・広報紙に啓発記事を掲載しました。（9月号） ・高齢者虐待防止ケース検討会実施（令和5年10月10日、参加者10名）
	【成果】 ・高齢者虐待の相談に対し、高齢者福祉担当と地域包括支援センター職員が連携して対応を行うことにより、相談事例の迅速な解決を図ることができました。 ・高齢者虐待の防止について、広報を通じて啓発を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・虐待に関する通報等が少なからずあるため、虐待となる事例や周囲の人の気づきや声かけ等に関する啓発に努める必要がある。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 啓発活動や研修等を通して、高齢者及び障がい者の虐待、権利侵害の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うための支援体制の充実に努めているが、虐待に関する通報は少なからずあるため、防止に関する取り組みの工夫が必要なため。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式１

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	②虐待防止に向けた体制の充実
主な担当課	介護保険課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 サービス提供事業者へ高齢者虐待防止法等について周知。 研修の実施や職員のストレス対策を行うように働きかけ。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 事業所への立ち入り調査件数2件 サービス提供事業者に向けた、研修や調査の周知3回
	【成果】 虐待疑いにより立ち入り調査を行った事業所については、改善報告書の提出を求め、再発防止に努めることができた。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 複数回の啓発活動を通じて、介護職員への研修やストレス対策の重要性を伝達することができたため。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式1

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	②虐待防止に向けた体制の充実
主な担当課	こども家庭保健課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・要保護児童対策地域協議会は代表者会議１回、実務者会議４回、個別ケース会議８回を開催し、要保護児童等への対応について協議を行いました。 ・児童虐待防止月間（１１月）に合わせ、横断幕の掲出や広報等で啓発を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・要保護児童対策地域協議会代表者会議4/24（15機関） ・実務者会議5/30、8/23、11/18、2/4（各30名程度） ・個別ケース会議　87回（うち４回担当実務者会議実施） ・児童虐待予防講習会（ほめる子育てトレーニング講座）年19回（延126名）
	【成果】 要保護児童対策協議会の開催により、関係機関が連携を深め、情報を共有しながら要保護児童等への対応を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・児童虐待防止について、広く市民や関係機関への周知や協力が得られています。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

様式1

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

主な取り組み	（1）複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	③生活困窮者の自立を支援
主な担当課	生活支援課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 生活保護事業、生活困窮者自立相談支援事業を通じて、就労や他制度の活用等、低所得世帯に対する自立生活に向けた支援を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①生活保護事業 世帯の収入増（就労収入の増加及び社会保障給付金（年金含む）の増加）により、生活保護から自立（生活保護廃止）した世帯の合計は28世帯となりました。（収入増24世帯、年金活用等4世帯） また、就労支援相談員による就労支援により、登録者98人のうち27人が就労開始または収入増加となり、5世帯が保護廃止となりました。（前述の28世帯に含む） ②生活困窮者自立相談支援事業 18人に対して就労支援プランを作成して就労支援を実施し、うち4人が就労開始となりました。
	【成果】 ①生活保護事業については世帯の収入増により、生活保護から自立した世帯の合計は28世帯となった。また、就労支援相談員による就労支援を行った結果、27人が就労し、5世帯が生活保護廃止となるなど、他法他施策の活用により自立助長が図られました。 を開始しました。 ②生活困窮者自立相談支援事業については、就労支援プラン対象者18人に対してプランを作成して就労支援を実施し、4人が就労開始するなど自立に向けた支援を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 就労を開始しても自立となる収入額まで至らないケースが多い。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 令和５年度も稼働収入や他法他施策などの活用による支援を行いましたが、世帯の収入増により、生活保護から自立した世帯の数が、前年度の33世帯に比べて28世帯と、5世帯減少となりました。また、就労支援相談員の支援により、生活保護の廃止に至った世帯は5世帯ありましたが、収入額が自立までには及ばないなど、自立の促進に至るまでの困難さが見られました。 コロナ禍から求職環境は回復傾向にありますが、就職に至るまでは難しい状況が継続しております。今後も就労支援プログラムの積極的な活用により、自立に向けた指導援助の進めていきたいと考えています。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

様式１

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	④ケアラーへの支援
主な担当課	指導課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・スクールソーシャルワーカーによる学校訪問や市内小・中学生に対してヤングケアラー調査を行うことで、ヤングケアラーと思われる児童生徒の早期発見や見守り、必要に応じて他の関係機関への接続ができるような体制を整えています。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・スクールソーシャルワーカーによる学校訪問を市内小中学校に年３回実施し、児童生徒の状況を共有しました。 ・市内全小・中学校において、小学校第４学年から中学校第３学年までの全児童生徒にヤングケアラー調査を行いました。
	【成果】 ・ヤングケアラーと思われる児童生徒に対し他の関係機関への接続ができたケースがあり、必要な支援へとつなげることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・関係機関との情報共有や連携を行うための連絡手段や取りまとめ役をどのように配置するか課題があります。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・ヤングケアラーと思われる児童生徒の早期発見や見守り、必要に応じて他の関係機関への接続ができたケースはあるが、より多くの支援が児童生徒へ届けるために改善していきます。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

様式1

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	④ケアラーへの支援
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・ケアラーの介護等による不安を軽減するため、相談対応（電話・窓口、訪問、メール）を行った。 ・相談窓口がわかるように、ホームページに掲載をした。 ・支援を必要とするケアラーに対して、情報提供、適切な支援機関への案内または取次ぎを行った。 ・ケアラーの方が孤立しないよう、地域における支援の輪を広げることを目的に家族介護講演会を行った。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・家族からの相談件数（電話・窓口・訪問、メール含む）　3,288件 ・家族介護講演会　開催日：令和6年2月1日　参加人数：188人
	【成果】 5か所の地域包括支援センターと連携して事業を展開した。必要に応じて関係機関と連携し適切な支援を行うことができた。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・相談先として、地域包括支援センターの認知は進んでいるものの、更なる周知が必要なため、周知・啓発方法を工夫していくとともに、今後も関係機関と連携して相談支援体制を整えていく。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 更なる周知・啓発は必要なものの、ある程度相談対応はできているため。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式1

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	④ケアラーへの支援
主な担当課	介護保険課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 介護保険相談員による介護サービス利用者等への訪問相談等。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 介護保険相談員訪問等件数　延べ　1,088件
	【成果】 新型コロナウイルスの影響で、令和4年度までは電話相談が多い状況でしたが、コロナが5類に移行し、施設への訪問や運営推進会議への出席が増えた。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 介護サービス利用者等に対して具体的なサービスの提案をすることができたため。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（１）複雑化、複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

様式1

主な取り組み	(1) 複雑化、複合化した生活課題に対応
内　　容	④ケアラーへの支援
主な担当課	こども家庭保健課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 相談者から「家を出て、大学へ進学したい」という希望を踏まえ、相談者同意のもと、市の関係機関、久喜市社会福祉協議会、相談支援事業所とヤングケアラー協会等で情報共有のためのケース会議の実施。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・随時関係機関でケース会議を計１０回ほど実施。
	【成果】
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ヤングケアラーは複雑な問題を抱えている場合が多い
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 相談者と月１回程度の面談を重ね、令和６年４月、無事に大学へ進学し、単身生活を始めることができた。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（２）支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います

様式1

主な取り組み	(1) 広報紙をはじめ様々な媒体を使い、わかりやすい情報提供を行います。
内　　容	①広報くきをはじめとする市の刊行物や市ホームページ、動画チャンネル等のSNSを活用しながら、福祉に関する情報をわかりやすく発信していきます
主な担当課	社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・市政報告動画作成 テーマ　ここが違うよ久喜　地域福祉 概　要　令和5年3月に策定した「第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について動画を作成。 ・広報紙掲載 テーマ　「つながり」が地域を幸せに　～地域共生社会を目指して～ 概　要　第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について広報紙に掲載。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・市政報告動画作成 令和5年3月に策定した「第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について具体的な事例に基づき動画を作成し、わかりやすく周知を図りました。 ・広報紙掲載 令和5年3月に策定した「第3次久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画」について地域で活動している方々のインタビュー記事などわかりやすく広報紙に掲載をして、周知とともに啓発を行いました。
	【成果】 動画作成や、広報紙掲載について、わかりやすく作成し、周知を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・具体的な事例や、地域で活動している方々の情報をわかりやすく取りまとめ、周知をすることができました。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（３）個々の活動をつなぐ仕組みをつくります

様式1

主な取り組み	(1) 福祉に関わる関係機関等との連携強化を図る
内　　容	①民生委員・児童委員等の地域福祉の担い手や福祉の専門機関との連携を図る
主な担当課	社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 福祉課題の多様性や支援を必要とする世帯の増加により、地域の身近な相談援助窓口として民生委員・児童委員の役割はますます重要になっています。そのため、地域の課題を共有するなど、より積極的な情報交換や情報提供の充実を図り、活動が円滑に行われるよう支援します。 ・民生委員・児童委員活動が円滑に実施されるよう、久喜市民生委員・児童委員協議会に対し、活動に要する費用の一部を補助しました。 ・毎月開催される地区民協の定例会に職員も出席し、情報交換を行いました。また、必要に応じ、民生委員･児童委員との連絡を取り合い、地域の課題の共有に努めました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・定例会開催数：月1回 ※久喜市…13民児協（各民児協の開催日及び人数は異なる） 久喜地区…久喜第1地区民児協～久喜第8地区民児協 菖蒲地区…菖蒲地区民児協 栗橋地区…栗橋東・栗橋西地区民児協 鷲宮地区…鷲宮東・鷲宮西地区民児協
	【成果】 ・民生委員・児童委員と綿密な連絡調整を行い、活動を支援することにより、地域福祉の向上に努めました。 ・民生委員･児童委員と地域の課題が共有でき、福祉や保健サービス等に関する情報提供を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・綿密な連絡調整により、民生委員・児童委員間と適切な情報共有ができました。

基本目標３　誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり

（３）個々の活動をつなぐ仕組みをつくります

様式1

主な取り組み	(1) 福祉に関わる関係機関等との連携強化を図る
内　　容	②各支援機関が円滑な連携のもとで支援ができるように取り組む
主な担当課	社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・「ふくし総合相談窓口」にて受けた相談内容が複雑化、複合化した課題の内容である場合、その相談内容に関連した担当課に情報提供をして、支援を行うように対応している。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・相談件数　　４２件（内訳　電話　１２件、来所　３０件）
	【成果】 生活に不安を抱えている相談者の相談に向き合い、必要に応じて、担当課と調整をして支援を行うことができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 相談を受ける職員研修などに参加をし、知識や経過を習得し、更なる相談支援体制の充実を目指すため。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（１）災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

様式1

主な取り組み	(1) 住民主体の見守り活動を推進
内　　容	①要援護者の見守りや登下校時の見守り活動の支援
主な担当課	社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 「要援護者見守り支援登録台帳システム」を活用し、住民基本登録台帳情報等を反映させた情報管理を行った上で、適時の情報提供を行いました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・要援護者見守り支援事業を通じて平常時の見守り活動を実施しました。 　また、広報くき3月号で当該事業を紹介したほか、次の事業を実施しました。 【久喜市要援護者見守り支援事業に係る合同研修会】 　日時　　：令和6年1月20日～30日　計4回 　場所　　：菖蒲文化会館（アミーゴ）、鷲宮総合支所、栗橋文化会館（イリス）、久喜総合文化会 　　館 　参加人数：計346人 　対象　　：区長、民生委員・児童委員、自主防災組織の代表者
	【成果】 ・令和6年3月末現在、2,585人が「要援護者見守り支援登録台帳」に登録され、区長、民生委員・児童委員、自主防災組織等の支援者が平常時の見守り活動を行っています。 ・要援護者見守り支援協力事業者が1事業者増え、53事業者となり、日常業務を通じて見守り支援活動に参加しています。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・対象者の死亡や施設入所等の理由により、「要援護者見守り支援登録台帳」の登録者数が減少傾向にあります。 ・引き続き、事業の周知を図り、新規登録者数を増やすことで、要援護者の見守り支援体制づくりを進めます。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・協力事業者として、新たに1社と覚書を締結しました。 ・合同研修会などの機会を通じて、当該事業に対する周知を図るとともに支援者の役割や災害時の男女共同参画について理解を深めることができました。しかし、登録者数が減少傾向にあるため、支援を必要としている方に、本事業の周知を図っていくことが課題です。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（１）災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

様式1

主な取り組み	(1) 住民主体の見守り活動を推進
内　　容	①要援護者の見守りや登下校時の見守り活動の支援
主な担当課	教育総務課
令和５年度 実施事業	【事業内容】登下校時の見守り活動の支援 ・防災行政無線による児童生徒への帰宅の呼びかけ放送を実施しました。 ・職員による市内全地域の通学路巡回パトロールを実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・防災行政無線による児童生徒への帰宅の呼びかけ放送 【実施期間】 令和５年４月から令和６年３月までの学校課業日 【実施時間】 定時チャイム直後に放送する。 ３月～　４月　午後５時　　５月～８月　午後６時 ９月～１０月　午後５時　１１月～２月　午後４時 ・職員による市内全地域の通学路巡回パトロール 【実施日】 月曜日から金曜日までの学校課業日 【実施時間】 午後３時～午後４時
	【成果】 登下校時の見守り活動の支援として、防災行政無線による児童生徒への帰宅の呼びかけ放送及び、職員による市内全地域の通学路巡回パトロールを実施し、児童生徒の通学等における安全の確保を図りました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 上記事業の実施により、登下校時の地域住民の見守り活動の支援し、児童生徒の通学等における安全の確保を図ることができました。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（１）災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います

様式1

主な取り組み	（2）住民主体の防犯、防災活動を推進
内　　容	①防犯パトロール、防災訓練、自主防災組織の支援
主な担当課	市民生活課、危機管理課、社会福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 （自主防災組織の支援） 様々な機会を捉えて自主防災組織の設立を促すとともに、自主防災組織活動に係る補助金交付を実施しました。また、栗橋文化会館（イリス）において防災講演会を実施しました。 （防災訓練） ・総合防災訓練において、毎日興業アリーナ久喜、江面小学校、三箇小学校、栗橋北彩高等学校、上内小学校の５会場で避難所運営訓練等を実施しました。 ・福祉避難所指定施設において、各福祉避難所指定施設職員に参加いただき、福祉避難所開設・運営マニュアルを基に福祉避難所開設訓練を実施しました。 （防犯パトロール） 警察や防犯協会等の関係機関・団体と連携のもと、地域における防犯活動を実施する。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 （自主防災組織の支援） ・補助金申請件数　116件 ・補助金交付金額　4,397,800円 ・防災講演会実施日　令和6年3月10日（日）　参加者：125人 （総合防災訓練） ・実施日：令和5年9月2日（土） ・参加人数：645人（地域住民：332人、関係機関：182人、市職員：131人） （福祉避難所開設訓練） ・日時：令和6年3月3日（日）　会場：ふれあいセンター久喜　参加者：42人 ・対象者：福祉避難所指定施設職員、市職員、他 （防犯パトロール） ・地域防犯活動人数　1,786人 （内訳）こども・レディース110番の家　1,011人 ランニングパトロール隊　102人 地域防犯推進委員　673人
	【成果】 ・様々な機会を捉えて自主防災組織の設立を促すとともに、組織の設立、防災資機材購入及び防災訓練の実施に対し、補助金を交付し、自主防災組織の育成・強化を推進しました。 ・市内5会場に市民が参集して避難所運営訓練等を実施し、市民の防災意識の高揚と災害時に必要となる知識・技術の向上を図ることができました。 ・福祉避難所開設・運営マニュアルに基づき、福祉避難所の備品組立訓練やレイアウト作成、避難者の受入れ訓練など、実際に福祉避難所を開設する訓練を実施することで、関係者の連携を図りながら、様々な課題を検証しつつ、福祉避難所のより一層の理解を深めることができました。 ・警察や防犯協会等の関係機関・団体と連携のもと、地域の防犯体制や市民による見守り体制の強化が図れました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・自主防災組織に対して十分な支援を行えたため。防災訓練については、多くの住民や関係機関と協力して行えたため。 ・福祉避難所開設・運営マニュアルに基づいた福祉避難所開設訓練ができました。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式１

主な取り組み	（1）各福祉計画で策定した事業を円滑に実施
内　　容	①高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画で策定した事業を円滑に実施
主な担当課	障がい者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・第2次久喜市障がい者計画　第6期久喜市障がい福祉計画　第2期久喜市障がい児福祉計画に掲げる各種事業を適切に実施しました。 ・障がい者施策推進協議会を開催し、令和６年度からを計画期間とする障がい者計画・障がい（児）福祉計画を策定しました。
	・第2次久喜市障がい者計画　第6期久喜市障がい福祉計画　第2期久喜市障がい児福祉計画に掲げる各種事業を適切に実施しました。
	【成果】 ・第2次久喜市障がい者計画　第6期久喜市障がい福祉計画　第2期久喜市障がい児福祉計画に掲げる各種事業を適切に実施しました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・第2次久喜市障がい者計画　第6期久喜市障がい福祉計画　第2期久喜市障がい児福祉計画に掲げる各種事業を適切に実施しました。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式１

主な取り組み	（1）各福祉計画で策定した事業を円滑に実施
内　　容	①高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画で策定した事業を円滑に実施
主な担当課	高齢者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に掲げる各種事業を適切に実施。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に掲げる各種事業を、概ね見込み通りに実施できた。
	【成果】 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に掲げる各種事業が順調に進んだ。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に沿って、高齢者福祉の充実を図ることができたため。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

様式１

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

主な取り組み	(1) 各福祉計画で策定した事業を円滑に実施
内　　容	①高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画で策定した事業を円滑に実施
主な担当課	介護保険課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に掲げる各種事業を適切に実施。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に掲げる各種事業を、概ね見込み通りに実施できた。
	【成果】 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に掲げる各種事業が順調に進んだ。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画に沿って、高齢者福祉の充実を図ることができたため。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式１

主な取り組み	（1）各福祉計画で策定した事業を円滑に実施
内　　容	①高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画で策定した事業を円滑に実施
主な担当課	子育て支援課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・第２期久喜市子ども・子育て支援事業計画では、６つの基本目標において、279の取組・事業を掲げて、こどもと子育て支援の充実を図りました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・計画通りに推進している　253事業 ・一部計画通りに推進できていない　４事業 ・計画通り推進できていない　４事業 ・未実施・終了　18事業
	【成果】 ・一部未実施・終了した取組・事業がありますが、約９割が計画通りに推進できました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・約９割の取組・事業が計画通りに推進され、未実施・終了となった事業のうち、13事業は事業の統廃合や新規事業への移行に伴う発展的な事由であり、新たな取組・事業の実施により、こどもと子育て支援の充実が図られたため。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

様式1

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

主な取り組み	（1）各福祉計画で策定した事業を円滑に実施
内　　容	①高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画、子ども・子育て支援事業計画で策定した事業を円滑に実施
主な担当課	こども家庭保健課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・子育ての悩み、心配事など、子育てに関するさまざまな相談について、各地区において家庭児童相談室で家庭児童相談を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 家庭児童相談件数　1,424件
	【成果】 身近な相談機関として、保護者の育児不安の軽減を図るとともに、関係機関との連携により、児童の福祉向上に寄与することができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 保護者等に対し、子育てに対する助言や指導を行うことができました。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式1

主な取り組み	(2) 市民の移動手段の確保
内　　容	①民間公共交通と公共交通との連携を図り、市民の移動手段の確保
主な担当課	交通住宅課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・市内循環バス ・デマンド交通（くきまる） ・くきふれあいタクシー（補助タク）
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・市内循環バス　乗車数　130,705人 ・デマンド交通（くきまる）　乗車数　19,186人 ・くきふれあいタクシー（補助タク）　乗車数　29,246人
	【成果】 ・市内循環バス、デマンド交通（くきまる）、くきふれあいタクシー（補助タク）を実施し、公共交通の充実及び補完を図ることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ・燃料費高騰、運転手不足など公共交通の維持が困難になりつつある中、市民の移動手段を確保する必要があります。なお、令和6年度において、今後の久喜市の公共交通の指針となる「久喜市地域公共交通計画」を定めます。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・社会情勢の変化や利用者ニーズに応じた公共交通の見直しが必要です。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式1

主な取り組み	（3）バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境を整備します
内　　容	①公共施設等におけるバリアフリー化等の施設整備を進めるとともに、ユニバーサルデザインについての理解を深め、普及・活用を図る
主な担当課	障がい者福祉課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・地域集会所等のバリアフリー化を促進するため、改修費の補助を行いました。 ・公共施設に設置してある音声誘導装置の保守点検を実施しました。 ・公共施設のオストメイト・ユニバーサルシートについてとりまとめHPに掲載しました。 ・エスコートゾーンを整備しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・集会所および民間施設のバリアフリー化を促進するための補助金 令和5年度実績　２件 ・視覚障がい者誘導システム保守業務委託 誘導システム設置施設　27箇所 ・エスコートゾーンを鷲宮地区に２箇所設置
	【成果】 公共施設等におけるバリアフリー化等の施設整備を進めることができました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 公共施設等におけるバリアフリー化等の施設整備を進めることができました。

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式１

主な取り組み	（3）バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境を整備します
内　　容	①公共施設等におけるバリアフリー化等の施設整備を進めるとともに、ユニバーサルデザインについての理解を深め、普及・活用を図る
主な担当課	社会福祉課（ふれあいセンター久喜）
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ①音声誘導装置が老朽化したことから、視覚障がい者が安全にふれあいセンター久喜入口まで来れるように更新工事を実施した。 ②介助浴室脱衣室の床材が剥がれ、反り及び縮みによる隙間が発生し、危険が生じていることから、高齢者・障がい者が安全にデイサービスの入浴サービスを受けることができるように床材交換工事を実施した。 ③④来館者が安全にみんなのトイレを利用できるように手すりと引戸を修繕した。 ⑤⑥高齢者・障がい者が安全にデイサービスの入浴サービスを受けることができるように非常用照明と呼出確認ランプを交換修繕した。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ①音声誘導装置更新工事 契約額　２，００２，０００円（うち消費税10%　１８２，０００円） 検査日　令和５年９月２７日 ②介護浴室脱衣室床材交換工事 契約額　１，８３７，０００円（うち消費税10%　１６７，０００円） 検査日　令和６年２月１５日 ③1階南みんなのトイレ手すり交換修繕 契約額　９７，９００円（うち消費税10%　８，９００円） 検査日　令和５年９月４日 ④1階南みんなのトイレ引戸修繕 契約額　６３，８００円（うち消費税10%　５，８００円） 検査日　令和６年１月１０日 ⑤介助浴室非常用照明修繕 契約額　９９，７７０円（うち消費税10%　９，０７０円） 検査日　令和６年１月２６日 ⑥介助浴室トイレ呼出確認ランプ交換修繕 契約額　２５，９６０円（うち消費税10%　２，３６０円） 検査日　令和６年３月１３日
	【成果】 工事や修繕を実施した結果、ふれあいセンター久喜におけるバリアフリー化等の施設整備を進めることができた。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。 ふれあいセンター久喜は建築後２７年を経過し、様々な施設や設備等が老朽化していることから、適切に予算措置をして修繕等を実施していかなければならない。
進捗状況	□順調に進んでいる ■概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】

基本目標４　誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり

（２）住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

様式１

主な取り組み	（3）バリアフリー及びユニバーサルデザインの環境を整備します
内　　容	①公共施設等におけるバリアフリー化等の施設整備を進めるとともに、ユニバーサルデザインについての理解を深め、普及・活用を図る
主な担当課	都市整備課
令和５年度 実施事業	【事業内容】 ・駅前広場公衆トイレのバリアフリー化を実施しました。
	【実績値】※開催日や実施回数、参加人数等、実績が分かる数値をご記入ください。 ・駅前広場公衆トイレ（久喜駅東口女子トイレ）の洋式化を１基実施しました。
	【成果】 ・駅前広場公衆トイレ（久喜駅東口女子トイレ）のバリアフリー化が図られました。
問題点・課題 ・今後の対応	※問題点や課題がある場合にはご記入ください。
進捗状況	■順調に進んでいる □概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点がある □実施されているが不十分な点が多い □事業内容や実施方法など見直しが必要 □未実施
	【上記項目の評価理由】 ・駅前広場公衆トイレのバリアフリー化が図られました。

進捗状況を把握するための計画指標

別表

	指標の内容	単位	令和3年度（現状値）	令和5年度（実績値）	令和6年度（実績値）	令和7年度（実績値）	令和8年度（実績値）	令和9年度（実績値）	令和9年度（目標値）	担当課
1	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	人	4,930 コロナ影響 15,208（H30）	7,252					16,000	生涯学習課
2	市内小中学校における福祉教育の実施校数	校	19	21					全校	指導課
3	はつらつリーダー（介護予防ボランティア）の年間養成人数	人	4	1					15	高齢者福祉課
4	ボランティアセンター登録新規団体数	団体	3	1					年3	社会福祉協議会
5	ボランティアセンター登録新規個人数	人	13	5					年15	社会福祉協議会
6	ファミリー・サポートセンター会員数	人	883	939					1,000	子育て支援課
7	久喜元気サービス新規登録協力会員数	人	7	9					年10	社会福祉協議会
8	地区あったか会議新規設置数	箇所	0	1					年1	社会福祉協議会
9	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動への市民参加人数	人	0 コロナ影響で中止 25,428（R元）	21,228					25,700	環境課
10	新たなまちづくり活動（地域提案型活動事業）に関する申請数	件	4	8					10	市民生活課
11	ふれあい・いきいきサロン新規登録数	箇所	2	4					年3	社会福祉協議会
12	包括的な相談窓口で受けた複雑化・複合化した相談のうち、支援につながった割合	割合	―	100					100	社会福祉課

進捗状況を把握するための計画指標

別表

	指標の内容	単位	令和3年度（現状値）	令和5年度（実績値）	令和6年度（実績値）	令和7年度（実績値）	令和8年度（実績値）	令和9年度（実績値）	令和9年度（目標値）	担当課
13	情報の発信手段の種類	種類	8	9					9種類以上	シティセールス課
14	地域福祉活動計画の説明、概要版配布	部	―	2,153						社会福祉課 社会福祉協議会
15	高等教育機関や民間事業者等との連携交流事業数	件	59	92					83	企画政策課
16	人口千人あたりの地域防犯（見守り）活動人数	人	11.3	11.8					12.0	市民生活課
17	自主防災組織の組織数	組織	163	170					175	危機管理課
19	あんしんカード配布数	枚	年813	1,786					年1,000	社会福祉協議会
20	地域包括支援センターの相談件数	件	36,334	38,641					37,500	高齢者福祉課
21	障がい者就労支援事業における新規就労者数	人	28	33					35	障がい者福祉課
22	保育所等巡回支援事業の事業満足度	割合	100	100					100	障がい者福祉課
23	経済的自立により生活保護が廃止となった世帯数	世帯	32	28					37	生活支援課
24	市が運行する公共交通利用者数	人	154,229 コロナ影響 166,125（R元）	179,137					190,500	交通住宅課